

2025 年 4 月 卒後藤谷塾 議事録

開催日 2025 年 4 月 9 日（水）7:00～8:00

■活動報告

- ①所属部署
- ②活動内容
- ③困っていること、その他相談など

【8 期生】

A(東京都)

- ①診療部
- ②脳外病棟管理、特定行為の実施、カンファレンスの参加、救急外来看護業務
- ③なし

B(埼玉県)

- ①看護部
- ②循環器(心不全、STEMI、カテ治療と検査の介助)、麻酔科(全麻維持管理)、特定行為
- ③なし

C(東京都)

- ①救急科
- ②初療対応、検査、輸液オーダー、特定行為（動脈穿刺、抗菌薬の選択）
- ③なし

D(新潟県)

- ①看護部一般病棟
- ②病棟看護業務をしながら病棟管理（必要時に特定行為の実施）
- ③なし

E(東京都)

- ①循環器内科・腎臓内科・一般内科混合病棟
- ②特定行為（代行オーダー全般、PICC、動脈採血、その他色々）、病棟管理、心臓カテーテル治療補助、看護師臨床推論など指導、その他
- ③なし

F(沖縄県)

- ①病棟
- ②病棟管理、各種オーダー代行、病棟と外来での特定行為実践、月 1 勉強会
- ③なし

G(東京都)

①療養病棟

②病棟スタッフとして病棟のケア向上が行えるように活動を行う、頻用する特定行為の実施

③なし

H(奈良県)

①総合診療科

②病棟管理、特定行為

③なし

【9期生】

J(茨城県)

①看護部

②内科研修、特定行為

③なし

K(東京都)

①看護部

②内科研修(患者受け持ち、点滴・内服・検査オーダー)、特定行為実施

③なし

L(愛知県)

①看護部と診療部の兼務

②麻酔科、手術室、内科、心カテ、特定行為

③なし

M(三重県)

①看護部

②内科研修中(患者受け持ち、点滴・内服・検査オーダー)、特定行為実施

③なし

N(千葉県)

①看護部

②病棟の看護業務

③なし

O(神奈川県)

①看護部

②外科研修、特定行為

③なし

■症例発表

「持続する下痢を主訴に精査目的で転院搬送されショックとなった症例」

NP 筑井より

- ・一文サマリーを練習していく。一文サマリーにはキードラッグやADLなどの活動性や、症状は急性なのか慢性なのかを入れて考える。
- ・症例発表での薬剤の投与量は γ などで表記していく。
- ・網状皮疹が出ているのは全身状態が悪いという指標である。
- ・症例発表ではX-PやCTの画像を評価し提示する。腸管の浮腫、エクストラの有無、胸水や腹水の有無など。
- ・敗血症を疑う場合は必ず血液培養の結果を確認する。

塾長より

- ・下痢が続いており、抗菌薬を投与されているため最初からCDを疑いメトロニタゾームなどの投与をしてもいいかもしれない。
- ・腸管の病変を疑う場合Nは、腹部CTで腸管の造影剤の染まりをみて判断する。NOMIや腸管壊死には複数の菌が関与する場合がある。
- ・鼻高症候群にならないように！いつでも謙虚な姿勢を忘れずに活動ができるようにしましょう。